

## 平成30年度事業計画

### 事業計画の基本

本法人が経営する特別養護老人ホーム黎明館の基本方針は従前と変更する考えはありません。

### 基本方針

1. 施設利用者様の受入れは可能な限り他の介護施設で敬遠される重度の看護管理が必要な、病院で治療しても改善の見込みがないとして退院させられる終末期高齢者の受入れに努め、地域の高齢者福祉に貢献する。
2. やる気のある職員を採用し、職員の技能を高め、付加価値の高い看護・介護を行い、職員には介護保険収入の上限の人件費で給与を支給し、職員の生活の維持に努める。
3. 収入支出全般についてはよく検討し、よく見直しを行い無駄な支出の排除に努める。

### 報酬改定の件

平成30年度の介護報酬改定は、介護人材確保などのために0.54%の引き上げが決定し、6年ぶりのプラス改定となりました。黎明館の老人福祉施設事業では、要介護3で13単位、要介護4で14単位、要介護5で15単位の増加となっております。一方、短期入所事業では要介護1で-15単位、要介護2では-14単位と減額ですが、要介護3で12単位、要介護4で11単位、要介護5では10単位が増加となっております。

また、夜勤職員配置加算や排せつ支援加算など、新たに見直された加算もあり、請求については最大限の獲得をするように進めてゆきます。

### 物品の購入・工事の発注

29年度は、早急に購入しなければならない物品の購入を行いました。30年度については、今のところ急ぐものはなく、複合機が減価償却の期限を超えてはいますが、不具合は出ていませんので、様子を見ながら買い替える予定です。一方、工事については、29年度には緊急を要するドアの改修を1ヶ所行いました。他にも不具合があるドアがありますので、30年度も5ヶ所ほど行う予定です。また、エレベーターの改修も先延ばしにしてきましたが、30年度には改修を行う予定です。

### 人手不足対策

看護職員1名、介護職員1名、洗濯担当職員1名の退職がありましたが、介護職員3名（内介護福祉士有資格者1名）、洗濯担当職員1名を採用しました。調理員については短大卒の就職希望者に内定を出していましたが、断りの連絡があったため採用者はおりません。職安に求人しても希望者がでませんので、賃金の見直しを行い希望者が出るように進めてゆく所存です。

### 資金対策

本法人は、お陰様で経営資金の借り入れをする程には資金不足にはなっておりませんが、何時災害を受けて大金が必要にならないとも限らず、災害を受けても給与の支払いが出来なかったり、給食材料等の購入が出来なかったりしないよう、運転資金を引き当てておきます。また、建物建て替えの資金も引き当てておきます。

